

請 願 文 書 表

受 理 番 号	請 願 第 2 2 号
件 名	後期高齢者医療制度の中止，廃止を求める意見書の提出について
紹 介 議 員	目崎良治
要 旨	<p>今さまざまな分野で格差と貧困が広がり，将来への不安が増大しています。とりわけ高齢者は，年金制度への不安，税制や医療・社会保障制度の改悪による負担増で悲鳴を上げています。</p> <p>このような状況のもと，2008 年 4 月から後期高齢者医療制度が実施されました。保険料が年金から天引きされた 4 月 15 日を前後して新潟県内の市町村への苦情，問い合わせが 4 月末までに 1 万 6,000 件にも上っています。後期高齢者医療制度では，家族に扶養されている人も含め，75 歳以上のすべての後期高齢者から，月額全国平均 7,200 円の保険料が徴収されます。介護保険料と合わせると月額平均 1 万円以上の負担となり，年金以外に収入のない低所得の後期高齢者にとって，年金からの天引き（特別徴収）は年金受給権，生活権の剥奪にもつながり，あすの生活が脅かされることとなります。</p> <p>新潟県の保険料は全国的に見ても低く設定されたとはいえ，2 年ごとの改定で確実に値上げされる仕組みが導入されています。</p> <p>また，これまでは，老人保健法対象者は資格証明書の交付の適用除外でしたが，後期高齢者医療制度では，保険料滞納者からの保険証の返還と窓口負担が全額請求される資格証明書の発行が懸念されます。</p> <p>高齢者への医療が制限されることも大きな問題です。人間ドックの補助金廃止，外来や入院，終末期医療における必要な医療の制限も心配されます。</p> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>
付 託 年月日 委員会	平成 2 0 年 6 月 1 8 日 <div style="text-align: right;">市民厚生常任委員会</div>
受 理	平成 2 0 年 6 月 1 2 日 第 5 5 2 号

「長生きしてはいけないのですか」と高齢者に思わせるようなこの後期高齢者医療制度に対して、全国の 30%を超える 577 市町村で「見直し」「中止・撤回」の議会決議が上がり（新潟県では 10 市町村）、新潟県も含む 30 都府県の医師会が「反対」「慎重」の意思表示をしています。政府与党の中からも「一部見直し」の声が上がるほどです。

私たちは継続すればするほど高齢者や国民を苦しめるこの制度は「一部見直し」ではなく、一たん中止、廃止して、国民すべてが安心できる医療制度をどうつくるか、財源問題も含め国民的討論で合意をつくることが重要と考え、地方自治法第 99 条に基づき、関係機関に対して意見書を提出していただくことを請願するものです。

記

- 1 新たな後期高齢者医療制度は、中止、廃止すること。
- 1 医療に使う国の予算をふやして、高齢者、国民が安心して医療を受けられるようにすること。